

『事業計画(H13~H17)』の総括

【4本柱】

1 安定給水の確保 2 安全で良質な水の供給

3 緊急時対策の推進 4 需要者サービスの向上と経営の改善

○財政収支状況

- ・収益的収支は、5か年間で303億円の純利益を計上
- ・資金残高は、H17年度末で227億円確保
- ・企業債残高は、5か年で174億円縮減

○事業の進捗状況

- ・（仮称）江戸川浄水場建設は、H19年度稼働に向けて計画どおり実施されており、進捗率は約92%となっている
- ・鉛給水管単独更新は、H22年度完了を目標に計画どおり実施されており、H17年度末の残存数は14万8千本となっている
- ・浄給水場等の基幹施設の耐震化は91%、基幹管路の耐震化は30%（全国平均13%）となっている
- ・平成16年8月に窓口の総合的なサービス拠点として「県水お客様センター」を開設した

◆ 前「事業計画」は、H16年度以降、収益的収支に赤字が見込まれていたが、

- ① 各種経費の節減・人件費の抑制
- ② 主要事業の見直し
- ③ 鉛給水管単独更新が起債対象

などにより、H15年度末に事業計画の修正を行った結果、赤字が解消され料金値上げが回避できたものである

課題抽出

【中期経営計画で取り組むべき課題】

- 将来の需要を見据えた安定水源の確保
- 老朽度診断を踏まえた効率的な更新計画
- おいしい水の要請や水質基準に対応した浄水処理の導入
- 施設の耐震化と危機管理体制の充実
- 経営基盤の強化
- お客様の視点に立ったサービスの提供

【社会情勢】

- ・人口減少と少子高齢化
- ・ライフスタイルの多様化、高度化
- ・地球環境への配慮
- ・危機管理対策の充実

【国の動向】

- ・規制緩和の推進
- ・経営基盤強化（総務省）
- ・水道ビジョン（厚生労働省）
- ・フルプラン変更との調整（国土交通省）

【戦略プロジェクト】

- ・安全、安心な生活空間づくり

【お客様ニーズ等の把握】

- ・お客様アンケート調査
- ・大口需要者聴取調査
- ・外部有識者の意見

『千葉県水道局中期経営計画(平成18年度から平成22年度)』

《特徴》

- 経営計画的な視点に立った計画
- 具体的な目標を設定した計画
- 外部の意見を取り入れた計画
- 現行料金を維持できる計画

『4つの基本目標と14の主要施策』

目標1 “より良質なおいしい水をいつでも安心して利用できる水道を目指します”

施策1 安定給水の確保
2 安全で良質な水の供給
3 環境保全対策の推進

目標2 “現行料金を維持できるよう経営基盤の強化を目指します”

施策4 効率的な経営の推進
5 経営体質の強化
6 技術の継承
7 人材育成の充実

目標3 “お客様により一層信頼される水道を目指します”

施策8 給水サービスの充実
9 窓口サービスの充実
10 情報サービスの充実
11 相談等広聴サービスの充実
12 情報セキュリティの充実

目標4 “地震時等の非常時にも強い水道を目指します”

施策13 危機管理体制の充実
施策14 震災・渇水等対策の推進

お客様会議

事業懇談会

パブリックコメント